

[019] 言語文化論究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/5551>

出版情報：言語文化論究. 19, 2004-01-31. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン：
権利関係：

個人研究業績一覧

(2002年11月～2003年10月)

言語科学部門 言語教育学講座

井上 奈良彦

- 『ヨーロッパの学校における外国語教育』言語文化叢書Ⅱ, 九州大学大学院言語文化研究院, 2002年12月, (翻訳・共著)
- 「大学英語教育における「新しい」教育の試み」『大学教育』No.9, pp.61-79. 九州大学大学教育研究センター, 2003年3月. (論文・単著)
- “What’s Going on inside the Pine Tower of Babel?: Foreign Language Curriculum Reform in a Japanese University.” Second Language Teaching and Curriculum Center, University of Hawai’i, 2003年10月. (口頭発表・単独)

カスヤン・アンドレアス

- „Verbvalenz im japanischen Deutschunterricht: Zur Unterscheidung von Angaben und Ergänzungen sowie zum Zusammenhang von Valenz und Bedeutung.” 日本独文学会西日本支部第54研究発表会, 於: 熊本大学, 2002年11月30日. (口頭発表・単独)
- 「独和辞典で使用されている/r/と/l/の仮名表記の問題 — 日本語を強い言葉、ドイツ語を弱い言語とする二言語使用児の/r/と/l/の聞き分け様式に関する調査を参考資料として—」『言語科学』No.38, pp.79-89, 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2003年3月. (論文・単著)

古村 由美子

- 「日本人英語話者と英語母語話者の対人葛藤対処方略の比較研究」外国語メディア学会第43回全国研究大会 於: 関西外国語大学中宮キャンパス, 2003年8月. (口頭発表・単独)

松村 瑞子

- 「時制表現としての日本語の夕形」『韓日言語文化研究』No.3, pp.55-72. 韓日言語文化研究会, 2002年12月. (論文・単著)
- 「日本人と韓国人の敬意表現の対照研究」『日韓言語文化国際 Forum'03』於: 九州大学, 2003年2月. (口頭発表・共同)
- 「日本人と韓国人の敬意表現の対照分析」第11回社会言語科学会 於: 立教大学, 2003年3月. (口頭発表・共同)
- 「日本語の談話における発話・思考の引用—英語との対照を中心に」『言語文化叢書』Ⅷ, pp.71-94, 2003年3月. (論文・単著)
- 「会話中の歴史的現在」『英語青年』pp. 434-5, 2003年10月. (論文・単著)

山村 ひろみ

- 「スペイン語の ser コピュラ文における pretérito perfecto simple による表出と pretérito imperfecto による表出」『テンスとアスペクト—日・英・仏・西語の観点から—』言文叢書, 九州大学大学院言語文化研究院, pp.1-46, 2003年3月. (論文・単著)
- 「日本語の「タ」とスペイン語におけるその対応形式について—日本語の名詞述語文とスペイン語におけるその対応形式を中心として—」『言語文化論』No.18, 九州大学大学院言語文化研究院, pp.129-153, 2003年7月. (論文・単著)
- 「futuro と pretérito/imperfecto の関係—機能的対照の観点から」第23回日本スペイン語セミナー (SELE2003), 於: 三島, 2003年8月27日. (口頭発表・単独)

志水 俊広

- 「大学における英語教育の取り組み」長崎県
高等学校教職員組合第 50 次教育研究大会
於：大村城南高校，2002 年 11 月。（口頭発
表・単独）
- 『ヨーロッパの学校における外国語教育』言語
文化叢書Ⅱ。九州大学大学院言語文化研究院，
2002 年 12 月。（翻訳・共著）
- 『応用言語学事典』研究社，2003 年 4 月。（事
典・共著）
- “Inviting Non-native Varieties of English to the
Classroom: Introducing the Real World into the
Classroom.”, 2003 Pan-Korea English Teachers
Association International Conference, 於：Don-
seo University, Busan, Korea, 2003 年 9 月。（口
頭発表・単独）

言語科学部門 言語情報学講座

江口 巧

- “Coordination of Path Phrases in English.”
English Linguistics Vol.19, No.2, pp.142-160.
English Linguistic Society of Japan, 2002 年 11 月.
(論文・単著)
- 「語用論的同質性のみられる等位構文」『英語
青年』第 148 巻 第 10 号, pp. 636-637. 研究
社. 2003 年 1 月。（論文・単著）

大津 隆広

- “Surface/Deep Anaphora and Contextual
Assumptions.” 『言語科学』No.38, pp.105-116,
九州大学大学院言語研究会, 2003 年 2 月。（論
文・単著）
- 「背景的視覚情報と英文の理解～関連性理論の
視点から」『映画英語教育論』, p.214-229, ス
クリーンプレイ, 2003 年 3 月（論文・単著）
- 「ヨーロッパの学校における外国語教育」『言
語文化叢書Ⅱ』, pp.59-96, 九州大学大学院言
語文化研究院, 2002 年 12 月（翻訳・共著）
- 「談話連結語 after all を含む発話の解釈と文脈
想定」福岡言語学会, 於：九州大学, 2003 年 4

月 19 日（口頭発表・単独）

鈴木 右文

- 「英語教育における仮想空間と文字チャットの
効果—大学間遠隔共同実験授業の試み—」『メ
ディア教育研究』No.9, pp.51-64. メディア教
育開発センター, 2002 年 9 月。（研究ノート・
単独）
- 「映画の世界：友だちのうちはどこ？」『反戦
情報』No.219, 2002 年 11 月。（連載コラム・
単独）
- 「映画の世界：猿の惑星」『反戦情報』No.220,
2002 年 12 月。（連載コラム・単独）
- 『大学英語教育と対話演習授業の新展開—
遠隔授業にも利用できる仮想空間チャットシス
テム—』言語文化叢書Ⅰ, 154 頁, 九州大学大
学院言語文化研究院, 2002 年 12 月。（著書・
単著）
- 「映画の世界：無防備都市 ペイルートからの
証言」『反戦情報』No.221. 2003 年 1 月。（連
載コラム・単独）
- 「映画の世界：チョムスキー9. 11」『反戦情
報』No.222, 2003 年 2 月。（連載コラム・単
独）
- 「映画の世界：虎の尾を踏む男達」『反戦情
報』No.223, 2003 年 3 月。（連載コラム・単
独）
- 「映画の世界：戦場のピアニスト」『反戦情
報』No.224, 2003 年 4 月。（連載コラム・単
独）
- 「英語教育とコンピュータ」平成 15 年度熊本
県高等学校教育研究会英語部会総会, 於：熊本
県立体育館会議室, 2003 年 5 月。（講演・単
独）
- 「映画の世界：博士の異常な愛情」『反戦情
報』No.225, 2003 年 5 月。（連載コラム・単
独）
- 「大学英語教育の課題と対話演習授業の新展
開」九州大学大学院言語文化研究院言語研究会,
2003 年 5 月。（口頭発表・単独）

- 「映画の世界：ライフ・イズ・ビューティフル」『反戦情報』No.226, 2003年6月。(連載コラム・単独)
- 「映画の世界：KT」『反戦情報』No.227, 2003年7月。(連載コラム・単独)
- 「映画の世界：僕の村は戦場だった」『反戦情報』No.228, 2003年8月(連載コラム・単独)
- 『尾道学と映画フィールドワーク』中川書店, 2003年9月。(著書・共著)
- 「映画の世界：ユリシーズの瞳」『反戦情報』No.229, 2003年9月。(連載コラム・単独)

田島 松二

- *The Kyushu Review* No. 7, 125pp. 2002年10月。(学術誌・編集発行)
- 「追悼 林哲郎先生」*The Kyushu Review* No. 7, pp. 103-05. 2002年10月。(その他・単著)
- 「林哲郎先生略歴・研究業績目録」*The Kyushu Review* No. 7, pp. 106-14. 2002年10月。(書誌・単著)
- 『英語史研究会会報』第8号, 37pp. 英語史研究会, 2002年12月。(会報・編集発行)
- 「18世紀英語の歴史・社会言語学的研究書誌」『言語科学』第38号, pp.153-74. 九州大学言語文化研究院, 2003年2月。(書誌・共著)
- 「中英語頭韻詩における絶対形容詞ーガウエイン詩群を中心に」『英語英文学論叢』第53集, 63-84. 九州大学英語英文学研究会, 2003年3月。(論文・単著)
- “An Annotated Chaucer Bibliography 200.” *Studies in the Age of Chaucer* (The New Chaucer Society/Rutgers University Press), Vol. 24 (2002), 455-561. (解題付き書誌・共編)
- 『中英語頭韻詩 *Piers Plowman* の言語・文体に関する実証的研究』平成11年度～13年後科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 115 pp. 2003年3月。
- 『英語史研究会会報』第9号, 52 pp. 英語史研究会, 2003年6月。

田中 俊也

- “Towards Reconstruction of the Proto-Indo-European Inactive Class of Verbs: Five Categories and Sixteen Specimens.” 『言語科学』第38号, pp.1-53. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2003年2月。(論文・単著)
- 「第17章 英語論文の書き方」, 『A PASSAGE to ENGLISH: 大学生のための基礎的英語学習情報(第3版)』, 九州大学大学院言語文化研究院・英語共通教科書編集委員会編、九州大学出版会, 2003年10月。(教科書・分担執筆)

恒川 元行

- 「コーパス検索事例の配列方法について」『言語文化論究』No.17, pp.135-140. 九州大学大学院言語文化研究院, 2003年2月。(研究報告・単著)

恒吉 法海

- 「ジャン・パウルの翻訳について」『かいろす』第40号, pp.1-13. 2002年12月。(論文・単著)
- 『続ジャン・パウルノート』九州大学出版会 304pp. 2003年8月。(単著)

文化情報学部 メディア文化情報学講座

阿尾

- 「『ダランベール氏への手紙』分析」第11回国際啓蒙主義大会, 2003年8月7日。アメリカUCLA。(口頭発表。座長)
- 「『ルソーとロマン主義』なるものー文化的取り込み抗してー」『言語文化論究』第18号, pp.1-11. 九州大学大学院言語文化研究院, 2003年6月。(論文・単著)
- 「ロマン派の自然意識を問い直す」日本英文学会第75回全国大会, 2003年5月25日。(口頭発表・単独)

太田 一昭

- 「エリザベス朝の旅役者たち」『英語英文学論叢』53集, pp.33-61, 九州大学大学院英語英文学研究会, 2003年3月。(論文・単著)
- 『初期英国演劇統制資料』, 言語文化叢書 5, (九州大学大学院言語文化研究院), 160pp. (iii+157pp.), 2003年3月。(著書・単著)
- 平成12年度～平成14年度(2000-2002年度)科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書, 「初期英国演劇関係資料分析による英国ルネサンス演劇史の再構築に関する研究」, 233pp., 2003年3月。(その他・単著)

栗山 暢

- 「議論の型 思考の型」『言語文化論究』No.17, p.13-27. 九州大学言語文化研究院, 2003年3月。(論文・単著)
- 「思考の方法—条件文推論を認知科学的観点から概観する—」『言語文化論究』No.18, pp.12-26. 九州大学言語文化研究院, 2003年6月。(論文・単著)

鈴木 教典

- 「メールサーバのアウトソーシング事例—大学院言語文化研究院の場合—」『九州大学情報基盤センター広報』Vol.3, No.1, pp.3-7. 九州大学情報基盤センター, 2003年3月。(解説・単著)

谷口 秀子

- 「Barbara Cartland, *Tempted to Love*—男装、ジェンダー、セクシュアリティ—」『言語科学』第38号, pp.67-77. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会, 2003年2月。(論文・単著)
- 「ジェンダーフリーと異形—絵本の中の女性像—」『言語文化論究』第17号, pp.29-43, 2003年2月。(論文・単著)
- 「ジェンダーを越えるヒロイン像—最近の絵本を中心に—」第4回韓日言語フォーラム

(於九州大学) 2003年2月。(口頭発表・単独)

- 「ジェンダー・バイアスからジェンダー・フリーへ—結婚をめぐるBabette Coleの語り直し—」『言語文化論究』第18号, pp.63-76, 2003年6月。(論文・単著)
- 九州大学言語文化研究院公開講座『言語と文化におけるジェンダー』第1回講義(「ジェンダーを考える」)担当 2003年10月。(その他・単独)

津村 正樹

- 「トーマス・ブルスイヒ著『太陽通り』(浅井晶子訳)北海道新聞, 2003年1月12日。(西日本新聞1月26日に転載)(書評・単著)
- 「久留米俘虜収容所における演劇活動」久留米教育委員会発行『ドイツ軍兵士と久留米—久留米俘虜収容所II—(久留米市文化財調査報告書第195集)』pp.85-90. 2003年3月31日。(論文・単著)
- 「ペーター・ゲスナー『世界、そして自分自身との対峙』季刊『演劇人』2003年第13号, pp.38-40. 2003年8月10日。(翻訳・単著)

徳見 道夫

- 「文化変容論—シェイクスピア作品への試み」『言語文化論究』No.18, 2003年6月, pp.45-51。(論文・単著)

福元 圭太

- 「女性的なるもの」の位相—母権制と反ユダヤ主義に関する試論—『言語文化論究』第17号 pp.45-52. 九州大学大学院言語文化研究院, 2003年2月(論文・単著)
- 「高貴と野蛮の縮図—シンポジウム「ドイツ青年運動と文学」序論—」『日本独文学会研究叢書』第20号, pp.1-4. 日本独文学会, 2003年5月。(総説・単著)
- 「男性同盟とホモソーシャルティ—同性愛と政治のディスカス—」『日本独文学会研究叢

書』第20号、pp.32-46。日本独文学会、2003年5月。(論文・単著)

文化情報学部 比較言語文化学講座

阿部 吉雄

- 「上海のユダヤ人『移住者住所録』(1939年)『言語文化論』No.17, pp.141-157。九州大学大学院言語文化研究院, 2003年2月。(資料調査・単著)
- 「上海のユダヤ人『移住者住所録』(1939年11月)と興亜院華中連絡部の『上海ニ於ケル猶太人ノ状況(主トシテ歐州避難猶太人)』(1940年1月)『言語文化論』No.18, pp.111-127。九州大学大学院言語文化研究院, 2003年6月。(論文・単著)

岩佐 昌暉

- 「若干郭沫若詩歌的写作背景」郭沫若与百年中国学术文化国際論壇, 中国社会科学院(北京), 2002年11月21日。(口頭発表・単独)
- 「中国現代文学中的伝統創作思維模式」南京大学中国現代文学研究中心編『中国現代文学伝統』pp.88-99, 人民文学出版社(北京), 2002年12月。(論文・単著)
- 『文学創作の発想法に基づく中国現代文学史の研究』平成12年度~14年度科学研究費補助金(基盤(C)(2))研究成果報告書, pp.1-71, 2003年3月。(報告書・単著)
- 『文革期の文学』言語文化研究叢書VII, pp.1-161, 九州大学大学院言語文化研究院, 2003年3月。(著書・単著)
- 「福岡滞在期の郭沫若文学の背景その他」『言語文化論』NO.17, pp.121-134, 九州大学大学院言語文化研究院, 2003年3月(研究報告・単著)
- 「紅衛兵運動的挽歌—關於郭路生的詩」『藍・BLUE』2003年第1期(総第10期), pp.88-112, 《藍・BLUE》文学会, 2003年4月(論文・単著, 荀春生訳)
- 「短篇小説「鼠災」をめぐって(1)」『郭沫若

研究会報』創刊号, pp.2-3, 日本郭沫若研究会, 2003年5月。(総説・単著)

- 「若干郭沫若詩歌的写作背景」『詩探索』49・50 輯合併号, pp.98-111, 天津社会科学院出版社(天津), 2003年5月。(論文・単著)
- 「中華人民共和国の非公然出版物について」文部科学省特定領域研究第5回研究集会「東アジア出版文化の研究」, 九州大学国際研究交流プラザ, 2003年6月28日。(口頭発表・単独)
- 「(光明と暗黒)というキーワード—中国現代文学を貫くもの」第52回大阪市立大学中国文学会, 大阪市大文化交流センター, 2003年7月5日。(講演・単独)
- 「短篇小説「鼠災」をめぐって(2)」『郭沫若研究会報』第2号, pp.7-10, 日本郭沫若研究会, 2003年8月。(総説・単著)
- 郭沫若「燃える石炭—祖国を思う」『郭沫若研究会報』第2号, pp.13-14, 日本郭沫若研究会, 2003年8月。(翻訳・単著)

小谷 耕二

- 「歴史を書く/歴史のなかで書く—フオークナー『行け、モーセ』と歴史認識」『英語青年』Vol.148, No.12, pp.10-12, 33. 2003年3月。(論文・単著)
- 「南部文芸復興期の「歴史」小説および自伝に関する文化史的研究」平成12~14年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書, 全31頁。2003年3月。(研究報告・単著)
- 「歴史叙述とエスニシティ—ウィリアム・スタイロン『ナット・ターナーの告白』をめぐって」『言語文化論』No.18, pp.53-61。九州大学言語文化研究院, 2003年6月。(論文・単著)

佐藤 正則

- 「セルゲイ・ブルガーコフにおける近代の超克とマルクス評価」『ロシア史研究』No.72, pp.51-65。ロシア史研究会, 2003年5月。(論

文・単著)

- 「マルクスを読みなおすくマツハ主義者」たち
「ロシア・マルクス主義」の多面性のために」
『情況』第3期第4巻第4号, pp.136-153. 情
況出版, 2003年5月。(論文・単著)
- 「<地域>とその<固有性> 地域研究におけ
る若干の問題について」『言語文化論究』No.18,
pp.77-87. 九州大学大学院言語文化研究院,
2003年6月。(論文・単著)

高橋 勤

- “Transparency of the Emersonian Perspective: In
Response to Professor Joel Myerson’s Keynote
Speech.” *Proceedings of Kyoto American Seminar,
July 25-July 27, 2002*, Center for American
Studies, Ritsumeikan University, pp.169-76, 2003
年2月。(論文・単著)
- (書評) *Transcendentalism: A Reader*. Edited by
Joel Myerson. Oxford University Press, 2000, 『英
語英文学論叢』第53集, 九州大学大学院言語
文化研究院英語科 pp.95-100, 2003年3月。
- 「ことばの近代-石牟礼道子における風土と文
学」, 『文学と環境』no. 6, ASLE-J/文学・環
境学会, 2003年, pp.30-37。(論文・単著)
- 「ことばの中の風景-ソローとエマソンの詩
学」, 『新しい風景のアメリカ』, 南雲堂,
pp.36-52, 2003年。(論文・単著)
- 「エマソンと天文学」日本アメリカ文学会シン
ポジウム「アメリカンルネッサンス期の文学と
宇宙意識」, 榎山女学園大学, 2003年10月12
日。(口頭発表・単独)

田中 陽子

- Eurydice: 『ヨーロッパの学校における外国語
教育』言語文化叢書Ⅱ, 九州大学言語文化研究
院, 2002年12月。(翻訳・共訳)

中里見 敬

- 「反思『宝文堂書目』所録的話本小説与清平山

堂《六十家小説》之關係」明代文学国際学術研
討会(中国教育部人文社会科学重点研究基地・
復旦大学中国古代文学研究中心・南京師範大学
文学院共催, 正式代表[招待]) 於: 南京師
範大学, 2002年11月11-13日。(予稿集/口
頭発表・単独)

- 「授業と読書をリンクする: アメリカの大学の
授業」『千字文』18, 福岡大学人文学部東アジ
ア地域言語学科, 2002年12月。(その他・単
著)
- 黄克武著, 中里見敬訳「書評: Lydia H. Liu,
*Translingual Practice: Literature, National Culture,
and Translated Modernity - China, 1900-1937*
(Stanford: Stanford University Press, 1995)」
『言語科学』38, pp.141-152. 九州大学大学院
言語文化研究院言語研究会, 2003年2月。(翻
訳・単著)
- 「書目を利用した清平山堂刊行の小説に関する
研究のために: 劉改之の故事、および『彙刻書
目』諸本の異同」『中国古典小説研究』8,
pp.41-58. 中国古典小説研究会, 2003年3月。
(論文・単著)
- 「中国近代文学における浪漫主義の言説: ポス
トコロニアル文化論・翻訳論の視角から」『言
語文化論究』18, pp.89-109. 九州大学大学院
言語文化研究院, 2003年6月。(論文・単著)
- 中里見敬著, 吉田薫訳「書評摘録: 中国文学研
究裡の叙事学: 關於陳平原『中国小説叙事模式
的轉變』」, 陳平原著『中国小説叙事模式的轉
變』(北京: 北京大学出版社, 2003年7月)
pp.322-324。(書評・単著の中国語訳)
- 沈從文著, 中里見敬・2002年度後期「アジア
言語文化論Ⅱ/Ⅳ」受講生訳「三人の男と一人
の女」(小説), 『湘西: 沈從文研究』5, pp.26-
51. 湘西刊行会, 2003年10月。(翻訳・共
著)
- 「内面を表象する: 五四以前の白話小説・呉語
小説・文言小説における内面引用のモード」
2003年度中国現代文学研究者の集い 於: 大
阪市立大学文化交流センター, 2003年10月17

日。(口頭発表・単独)

西山 猛

- 「崔致遠『桂苑筆耕』における唐代に現れた詩語について」『崔致遠撰「桂苑筆耕集」に関する総合的研究』(研究成果報告書、九州大学教育研究プログラム・研究拠点プロジェクト B-2) pp.101-111, 2003年3月。(論文・単著)
- 「上古漢語から中古漢語にかけての場所を表す疑問形式の変遷」(中国語東アジア諸語研究会第3回例会、青山学院大学) 2003年5月。(口頭発表・単独)

藤崎 睦男

- 「“A Dog's Tale” —アイロニカルな寓話」『九州アメリカ文学』No.43, pp.25-33. 九州アメリカ文学, 2002年10月。(論文・単著)
- 「暗きに坐す民に」『英語英文学論叢』第53集, pp.85-94. 九州大学英語英文学研究会, 2003年3月。(翻訳・単著)

ミヒエル・ヴォルフガング

- 「太田黒玄淡の阿蘭陀外科免許状とその背景について」『日本医史学雑誌』第49巻第3号, W・ミヒエル/杉立義一, 2002年10月。(論文・共著)
- 「17世紀後半の日蘭交流における植物学」第17回ケンペル・バーニー祭, 於: 箱根, 2002年11月22日。(招待講演・単独)
- 「日本に関する観察 —1669年刊行の文献とその背景について」[Ernst Van Hogenhoek and his “Observations Concerning Japan” (1669)] 片桐一男編『日蘭交流史 — その人・物・情報』京都: 思文閣出版, 京都: 思文閣出版, 京都 2002年12月, pp.199-227. (分担執筆)
- “On the Background of Engelbert Kaempfer's Studies of Japanese Herbs and Drugs.” Journal of the Japan Society of Medical History, Vol48, No.4, December 2002, pp.692-720. (論文・単著)

- 「江戸の旅人ケンペルに隠れた素顔 — 冷静な観察力を育てた恵まれぬ境遇」朝日新聞, 2003年1月11日(土)。(新聞記事・単著)
- 『村上玄水資料(1)』中津市歴史民族資料館分館村上医家史料館資料叢書, 中津市, 2003年3月。(ミヒエル編、共著)
- 「ヘルマン・ブショフ: 通風に関する詳細な研究及びその確実な治療法と効き目のある薬剤について — ヨーロッパにおける灸術に関する初の著書(1676年英語版)」九州大学大学院言語文化研究院叢書, 第3号, 2003年3月。(著書・単独)
- 「九州大学医学部所蔵キュンストレレーキについて」第104回日本医史学会総会および学術大会, 於: 福岡, 月澤美代子/酒井シヅ/ヴォルフガング・ミヒエル, 2003年4月12日。(口頭発表・共同)
- 「ホーデフリード・ハークと17世紀の日蘭交流における薬草学について」第104回日本医史学会総会および学術大会, 特別シンポジウム1, 於: 福岡, 2003年4月12日。(口頭発表・単独)
- 「九州の蘭学 — 遠隔と近接」第104回日本医史学会総会および学術大会, 特別シンポジウムII, 於: 福岡, 2003年4月13日。(口頭発表・単独)
- 「九州大学開学記念行事「館医学分館所蔵貴重古医書公開展示」2003年5月7-10日。(展示会・企画・単独)
- “Kaempfers Japan und Dohms Kaempfer.” In: Sabine Klocke-Daffa; Juergen Scheffler; Gisela Wilbertz (Hg.) Engelbert Kaempfer (1651-1716) und die kulturelle Begegnung zwischen Europa und Asien. Veröffentlichungen des Instituts für Lippische Landeskunde. Lippische Studien. Forschungsreihe des Landesverbandes lippe, Band 18, Lemgo 2003, pp.211-243. (著書・分担執筆)
- 「1670年代の出島における薬油蒸留について」日本医史学会関西支部 2003年春期大会,

- 於：京都，2003年6月1日。（口頭発表・単独）
- 「17世紀の出島の医学」於：長崎大学医学部，2003年6月17日。（招待講演・単独）
 - 西日本新聞社など主催「人体の不思議 特別展」（福岡展）併設『九州の医学史・文献展』福岡市博物館 2003年4月12～6月29日。（展示会・出品及び解説協力，新聞記事執筆）
 - 「九州大学附属図書館医学分館の古医書コレクション及び画像資料データベースについて」洋学史学会，7月月例会，2003年7月13日。（口頭発表・単独）
 - 「ドイツ人旅行家ケンペルと18世紀のヨーロッパにおける日本観について」公開講演会，於：長崎外国語大学，2003年7月17日。（招待講演・単独）
 - 「村上医家史料館の史料から見た中津藩蘭学」シンポジウム「蘭学の里」，於：中津，2003年10月11日。（招待講演・単独）
 - 「村上玄水の人体解剖について」洋学史学会，2003年大会，於：中津，2003年10月12日。（口頭発表・単独）
 - 「17世紀半ばの欧日交流における医学について」京都府医師会学術講演会。於：京都，2003年10月23日。（招待講演・単独）
 - 「中津市歴史民俗資料館分館 村上医家史料館所蔵、「辛島家薬箱」の検討」日本生薬学会第50回年会。於：東京，中村輝子／遠藤次郎／ヴォルフガング・ミヒエル，2003年9月12日。（口頭発表・共同）
 - 「生薬の一字薬名の検討」日本生薬学会第50回年会。於：東京，遠藤次郎／中村輝子／ヴォルフガング・ミヒエル，2003年9月12日。（口頭発表・共同）
 - 九州大学附属図書館医学分館所蔵古医書画像資料データベース（ICOMB，<http://icomb.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html>）（データベース・共作）
- 情報基盤センター（言文兼任）
- 田畑 義之
- 『ヨーロッパの学校における外国語教育』言語文化叢書Ⅱ，九州大学大学院言語文化研究院』2002年12月。（翻訳・共訳）
 - 「Web ベースのドイツ語多読支援システム」『言語科学』第38号，pp.91-103，2003年2月。（論文・共著）
- 大学教育研究センター（言文兼任）
- 金 秀晶
- 「韓国語文法教育のための連結語尾研究」国立ソウル大学，2003年2月。（博士論文・単著）
- 武 継平
- 「関于郭沫若在広東大学任職期間活動的詳細考察」郭沫若百年中国学術国際シンポジウム，於：北京中国社会科学院，2002年11月。（口頭発表・単独）
 - 「北伐時の郭沫若（続）」『言語文化論究』No.17，pp.53-69。九州大学言語文化研究院，2003年2月。（論文・単著）
 - 「反思郭沫若から考えたこと」『日本郭沫若研究会報』創刊号，pp.6-8。日本郭沫若研究会，2003年5月。（エッセイ・単著）
 - 「郭沫若の〈女神の復活〉と魯迅の〈不周山〉」『言語文化論究』No.18，pp.27-44。九州大学言語文化研究院，2003年6月。（論文・単著）
 - 「忘れられつつある在りし日の偉人—郭沫若夫婦と九州の縁」『九州学会報』No.11。学会福岡支部，2003年8月。（研究手記・単著）
 - 「郭沫若と中日友誼蓮」『日本郭沫若研究会報』No.2，pp.10-12。日本郭沫若研究会，2003年8月。（エッセイ・単著）
 - 「郭沫若の〈女神の復活〉と魯迅の〈不周山〉」日本現代中国学会西日本支部会春季研究集会 於：西南学院大学，2003年8月。（口頭発表・単独）
 - 「郭沫若の『女神』創作期の逸詩文について」九州大学言語研究会 2003年度第3回研究会

於：九州大学，2003年9月。（口頭発表・単独）

石 汝杰

- 「明清時代吳語動詞選釈」『言語科学』第38号，pp.117-140. 九州大学大学院言語文化研究院言語研究会，2003年3月。（論文・単著）
- 「蘇州方言の疑問句」中国東南部方言比較研究会，於 广州中山大学，2003年3月23-24日。（口頭発表・単独）
- 「明清時代吳語形容詞選釈」第三屆國際吳方言學術研討會，於 上海，2003年3月29-30日。（口頭発表・単独）
- 「安徽肥西方言の語音特点」『中国語学研究：開篇』22卷，pp.212-218. 2003年5月。（論文・共著）

Mark, Robert

- "Eight Components of an Effective English Speaking Class." 『言語文化論究』第17号，pp. 1-12, 2003年3月。（論文・単著）
- "Word Games in the ESL Classroom." Fukuoka Chapter of JALT, 於 福岡女学院サテライト，2003年11月8日。（口頭発表・単独）

Westrick, Paul

- "A Vocabulary Level Test at the 1000 Word Level." The Japan Language Testing Association's Seventh Annual Conference, 於 熊本大学，2003年10月25日。（口頭発表・共同）